

高石市（大阪府）との友好都市交流事業

令和6年（2024年）11月12日（火）から12月2日（月）にかけて、高石市との友好都市交流事業として清高小学校、高陽小学校、高石小学校、取石小学校の4校から計251人の子どもたちが有田川町を訪れました。子どもたちは、有田川町の林業について学ぶ森林学習や鉄道交流館の見学・体験乗車、みかん狩りを楽しみました。



森の教室 IN 清水こども園

令和6年（2024年）11月18日（月）に、清水こども園において、和歌山県緑化推進会および国土緑化推進機構主催の「森の教室」が開催されました。次世代を担う子どもたちに森林が持つ役割や大切さを伝えるもので、園児たちは「どんぐりくんと森の仲間たちショー」や「森のダンス」で森の楽しさを学んだ後、屋外でどんぐりのお話を聞き、芽が出るようお願いを込めながらプランターにどんぐり植えを行いました。



木に親しむ・触れる 「キノピー教室」開催

和歌山県と有田川町共催で「キノピー教室」を有田川町内のこども園・保育園で開催しました。最初に、木の妖精「キノピー」をテーマにした紙芝居「みんなで森へいこう」の読み聞かせを行い、森林の仕組みと自然の大切さを学びました。紙芝居の後は、キノピーが登場し、お土産として「キノピーのぬりえ」と「キノピーのポケットティッシュ」をプレゼントしてくれました。また、有田川町が独自で行っている「木育」の時間として、有田川町産材のヒノキを使ったサイコロを作りました。「キノピー教室」と「木育」を通じて、自然に興味を持ち、自然を大切にするという心を育んでくれることを願います。

